

第十一部 イスラエルの贖いと回復

イザヤ 40 章～66 章

□ 第十一部のアウトライン

- | | |
|------------------------|----------------|
| A) プロローグ | 40 章 1～11 節 |
| B) イスラエルの苦難は終わる | 40 章 12 節～48 章 |
| C) イスラエルの罪は償われている | 49 章～57 章 |
| D) イスラエルは二倍のものを受けている | 58 章～66 章 |

□ 「B) イスラエルの苦難は終わる」のアウトライン (イザヤ 40 章 12 節～48 章)

1. 主の偉大なること、比べるものなし (40 章 12 節～31 節)
2. 偶像を裁く (41 章)
3. 主のしもべ (42 章)
4. **バビロンからの解放 (43 章 1 節～44 章 5 節)**
5. 偶像崇拜の愚かさ (44 章 6 節～23 節)
6. バビロン捕囚からキュロス王による解放 (44 章 24 節～45 章 25 節)
7. バビロンとその偶像たちに対するさばき (46 章 1 節～47 章 15 節)
8. 預言を受けるイスラエル民族への主の要求 (48 章)

□ 「4. バビロンからの解放」のアウトライン (イザヤ 43 章 1 節～44 章 5 節) と全体像

- a. 遠い未来の預言：最終的解放 (1～7 節)
- b. 現状：イスラエルは盲目の証人 (8～13 節)
- c. 近い未来の預言：バビロン捕囚からの解放 (14～21 節)
- d. 神がイスラエルをこのように守るのは、イスラエルに何か長所があるからではなく、ただ神の恵みによる (22～28 節)
- e. 二つの解放をまとめて語る (44 章 1～5 節)

全体像

将来、イスラエルがバビロンによって苦難を受ける日が来る。それは近い将来と遠い将来の 2 回起きる。

近い将来は、紀元前 605 年から 70 年続く「バビロン捕囚」である。バビロンを王都とするバビロニア帝国が、南王国ユダを攻撃し、その都エルサレムを破壊する日が来る。その前後、ユダの人々が、王族や貴族も、兵士や職人も、皆がバビロンに捕囚となって引いていかれる。

遠い将来は、「大患難期」、特にその後半期の 3 年半である。後半期の 3 年半において、バビロンは全世界を支配する一人の権力者（反キリスト）の首都となり、イスラエル民族を苦しめる。

この近い将来と遠い将来の 2 回ともに、主はイスラエルをバビロンから助けてくださるというのが、ここでイザヤを通して語られる預言である。ただし、預言の順番は時間順ではない。

まず、アウトラインの a.にて、2 回目の苦難からの解放【大患難期のバビロンからの最終的な解放】が語られる。

その次に、アウトラインの b.にてイスラエルの現状を指摘したうえで、アウトラインの c.にて、1 回目の苦難からの解放【バビロン捕囚とそこからの解放】が語られる。

イスラエルがこのように主によって守られる理由は何か。アウトラインの d.にて、その理由は、神の一方的な恵みだと語られる。イスラエルに何か長所があるわけではない。主の救いは、人の働きや善いことによるものではなく、神の恵みによる。

そして、アウトラインの e.にて、あらためて、2 つの苦難からの解放が、今度は時間順にまとめて語られる。

なぜ、このように二つの苦難からの解放が並べて語られるのか？

その理由を、今回の学びの結論として、最後に示す。

B) イスラエルの苦難は終わる

4. バビロンからの解放（43 章 1 節～44 章 5 節）

a. 遠い未来の預言：最終的解放（43 章 1～7 節）

1～2 節 だが今、主はこう言われる。ヤコブよ、あなたを創造した方、イスラエルよ、あなたを形造った方が。

「恐れるな。わたしがあなたを贖ったからだ。わたしはあなたの名を呼んだ。あなたは、わたしのもの。あなたが水の中を過ぎるときも、わたしは、あなたとともにいる。川を渡るときも、あなたは押し流されず、火の中を歩いても、あなたは焼かれず、炎はあなたに燃えつかない。

- 水の中を過ぎる・・・出エジプトで海が分けられて渡ったことを思い起こす
- 川を渡る・・・ヨルダン川がせきとめられて渡ったことを思い起こす
- わたしがあなたを贖った・・・イスラエルを解放するための代価は、主が代わって支払ってくださるということ。その代価とは何か、次の 3～4 節で、エジプト、クシュ、セバといった諸国民が挙げられる。

3～4 節 わたしはあなたの神、主、イスラエルの聖なる者、あなたの救い主であるからだ。わたしはエジプトをあなたの身代金とし、クシュとセバをあなたの代わりとする。わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。だから、わたしは人をあなたの代わりにし、^{くにたみ}国民をあなたのいのちの代わりにする。

- エジプトをあなたの身代金とし、クシュとセバをあなたの代わりとする・・・ダニエル 11：40～12：1 の預言によれば、大患難期の間時点で起きる戦争がある。そのとき、反キリストはイスラエルに攻め込むが、イスラエル側の被害は「多くの者が倒れる」（41 節）というレベルで済む。また、イスラエル周辺では、南ヨルダンの地域の人々は反キリストから逃れることができる（41 節）。しかし、反キリストはそのほかの国々に手を伸ばし、エジプトも免れることはできない（42 節）と預言されている。
- 南ヨルダンの地域には、ボツラ（現代の地名はペトラ）が位置する。この地域が反キリストの支配地域にならないので、イスラエル民族の大半がボツラに避難して大患難期の後半期を過ごすことができる。（参照、第九部 わざわいの書 イスラエルの避難、資料 92 頁）

5～7 節 恐れるな。わたしがあなたとともにいるからだ。わたしは東からあなたの子孫を来させ、西からあなたを集める。北に向かつては『引き渡せ』と言ひ、南に向かつては『引き止めるな』と言う。わたしの息子たちを遠くから来させ、娘たちを地の果てから来させよ。わたしの名で呼ばれるすべての者は、わたしの栄光のために、わたしがこれを創造した。これを形造り、また、これを造った。

- これは、大患難期が終わったあと、世界各地から生き残ったイスラエル民族が、約束の地に信仰を持って帰還することの預言である。イスラエルの最終的回復である。このあと、メシアの王国の時代となる。
 - 創造した、形造った、造った・・・これら 3 つの用語は、すべて創世記で神が人を造ったときの記事で用いられている。
 - 創 1：27 神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された。
 - 創 2：7 神である主は、その大地のちりで人を形造り、その鼻にいのちの息を吹き込まれた。それで人は生きるものとなった。
 - 創 1：26 神は仰せられた。「さあ、人をわれわれのかたちとして、われわれの似姿に造ろう。こうして彼らが、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地の上を這うすべてのものを支配するようにしよう。」
- ⇒ イスラエルの民は、人が造られた本来の姿に完成される、という預言

b. 現状：イスラエルは盲目の証人（8～13 節）

7 節では、イスラエルの民が最終的には、人が造られたときの本来の姿に完成されるとの預言であった。ここでは、時間を巻き戻して現状のイスラエルの姿を指摘する

8～9 節 目があっても見えない民、耳があっても聞こえない者たちを連れ出せ。すべての国々をともに集わせ、諸国の民を集めよ。彼らのうちのだれが、われわれにこのことを告げ、初めのことを聞かせることができるだろうか。彼らが自分たちの証人を出して証言し、人々がそれを聞いて、『本当だ』と言うようにせよ。

- 目があっても見えない民、耳があっても聞こえない者たち・・・イスラエルを指す。イスラエルはバビロン捕囚が起きる 100 年も前から、イザヤの預言によって、バビロン捕囚が起きる、でもそこから解放されると聞かされている。イスラエルは、靈的に目が見えない、耳が聞こえない状態だが、預言のとおりになったと証言できる証人になるであろう。
- 諸国の民を集めよ・・・イスラエルとは違って、彼らには預言者はいない。彼らは偶像を拝むけれど、偶像は預言を語らない。諸国民が自分たちの証人を出して証言することも、人々がそれを聞いて『本当だ』と言うことも、できない。⇒ そうであれば、イスラエルは陰で偶像を拝むのをきっぱりとやめて、真の神のみに拠り頼むべきである。

10～13 節 あなたがたはわたしの証人、——主のことば—— わたしが選んだわたしのしもべである。これは、あなたがたが知って、わたしを信じ、わたしがその者であることを悟るためだ。

わたしより前に造られた神はなく、わたしより後にも、それはいない。

わたし、このわたしが主であり、ほかに救い主はいない。このわたしが、告げ、救い、聞かせたのだ。あなたがたのうちに、異なる神はいなかった。

だから、あなたがたはわたしの証人。——主のことば—— わたしが神だ。これから後もわたしは神だ。わたしの手から救い出せる者はない。わたしが事を行えば、だれがそれを戻せるだろうか。」

c. 近い未来の預言：バビロン捕囚からの解放（14～21 節）

14～15 節 あなたがたを贖う、イスラエルの聖なる方、主はこう言われる。「あなたがたのために、わたしはバビロンに使いを送り、彼らをことごとく逃亡者として下らせる。カルデア人を彼らの喜びの船で。わたしは主、あなたの聖なる者、イスラエルの創造者、あなたがたの王である。」

16～21 節 海の中に道を、激しく流れる水の中に通り道を設け、戦車と馬、強力な軍勢を引き出した主は、こう言われる。「彼らはみな倒れて起き上がれず、灯芯のように消え失せる。先のことに目を留めるな。昔のことに目を留めるな。

見よ、わたしは新しいことを行う。今、それが芽生えている。あなたがたは、それを知らないのか。必ず、わたしは荒野に道を、荒れ地に川を設ける。野の獣、ジャッカルや、だちょうも、わたしをあがめる。わたしが荒野に水を、荒れ地に川を流れさせ、わたしの民、わたしの選んだ者に飲ませるからだ。わたしのためにわたしが形造ったこの民は、わたしの栄誉を宣べ伝える。

- 先のこと、昔のこと・・・出エジプトのときに主が海を分け、エジプト軍がそこに入り込んで壊滅したこと
- 新しいこと・・・バビロン捕囚からの解放。帰還に伴い、主はその地に豊かな水を与え、荒野に生息する野生動物たちもその恩恵を喜ぶであろう。

d. 神がイスラエルをこのように守るのは、イスラエルに何か長所があるからではなく、ただ神の恵みによる（22～28 節）

22～24 節 しかし、ヤコブよ、あなたはわたしを呼び求めなかった。むしろ、イスラエルよ、あなたはわたしのことで疲れ果てた。あなたはわたしに全焼のささげ物の羊を携えて来ることはなく、いけにえを献げて わたしをあがめようとしなかった。わたしは穀物のささげ物のことで あなたに苦勞をさせず、乳香のことで、あなたを煩わせてもいない。あなたはわたしのために、金で菖蒲を買わず、いけにえの脂肪で、わたしを満足させなかった。かえって、あなたの罪でわたしに苦勞をさせ、あなたの咎でわたしを煩わせただけだ。

25～28 節 わたし、このわたしは、わたし自身のために あなたの背きの罪をぬぐい去り、もうあなたの罪を思い出さない。わたしに思い出させよ。ともにさばきに向かおう。あなたが正しいとされるために、あなたのほうから申し立てよ。あなたの最初の先祖は罪を犯し、あなたの仲保者たちはわたしに背いた。それで、わたしは聖所のつかさたちを汚し、ヤコブが聖絶されるように、イスラエルがののしられ

るようにした。」

- 最初の先祖・・・ヤコブを指す。イスラエル民族のはじまりはヤコブから。
- あなたの仲保者たち・・・別訳「あなたの教師たち」。士師たち、王たち、祭司たち
- 聖所のつかさたち・・・祭司たちを指す。祭司たちを汚すとは、バビロニアによる紀元前 586 年の神殿破壊。
- ヤコブが聖絶される、イスラエルがののしられる・・・聖絶するは、ささげ物とするという意味もある。神がイスラエルをささげ物としたとは、バビロン捕囚に引き渡したことを指す。

e. 二つの解放をまとめて語る（44 章 1～5 節）

バビロン捕囚からの解放と回復

1～3a 節 「今、聞け、わたしのしもべヤコブ、わたしの選んだイスラエルよ。あなたを造り、あなたを母の胎内にいるときから形造り、あなたを助ける主はこう言う。恐れるな。わたしのしもべヤコブ、わたしの選んだエシュルンよ。わたしは潤いのない地に水を注ぎ、乾いたところに豊かな流れを注ぎ、

- エシュルン・・・イスラエルの別称（申命 32：15、33：5、26）

最終的な解放と回復

3b～5 節 わたしの霊をあなたの子孫に、わたしの祝福をあなたの末裔に注ぐ。彼らは流れのほとりの柳の木のように、青草の間に芽生える。ある者は「私は主のもの」と言い、ある者はヤコブの名で自分を呼び、ある者は手に「主のもの」と記してイスラエルの名を名乗る。」

- 波線部は、大患難期の末期、イスラエルの民族的救いにおいて起きる。

なぜ、二つの苦難からの解放が並べて語られるのか？

この預言を読むイスラエルの世代で、最も過酷な状況にいる人々は、大患難期の世代であろう。彼らにとっての希望は、最終的な解放と回復。その預言と並べて、バビロン捕囚からの解放と回復が記されている。バビロン捕囚からの解放と回復は歴史上、確かに成就した。それならば、二つ目も必ず成る、と確信できる。二つの苦難からの解放が並べて語られているのは、大患難期の世代への主のメッセージである。